

「ふるさと公園」のチョウ(1)

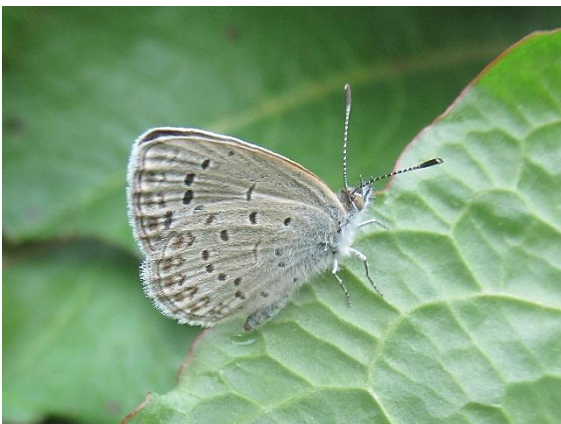
<シジミチョウ科>



ベニシジミ 草原性のチョウ。早春から晩秋まで見られる。



ツバメシジミ(オス 裏)翅表は、紫青色。(メス 表)黒褐色。
尾状突起と橙斑が特徴。草原性。春から秋まで見られる。



ヤマトシジミ 草原性。春から秋まで。シルビアシジミ 食草はミヤコグサ
よく似ているが、シルビアの方が小さく、斑紋は太い。



ルリシジミ(メス 裏)春から秋まで。 (オス 表)紫青色に輝く。

※上記4種は、白っぽい翅裏に黒点、黒斑があるが、ツバメシジミには尾状突起があり、他の3種にはない。ツバメ・ヤマト・シルビアが草原性であるのに比べ、ルリシジミは林縁部やその周辺で見られることが多い。



アカシジミ 樹上性のチョウ。6月に多い。 ウラナミアカシジミ 6月 減少種。



ミズイロオナガシジミ
樹上性 6・7月 減少傾向。



ウラキンシジミ
樹上性 6・7月
めったに見られない希少種。



ミドリシジミ 樹上性 6・7月



(オス) 翅表が緑色に輝く。



(メス)

A 型……翅表にオレンジ色の斑紋

B 型……青色の斑紋

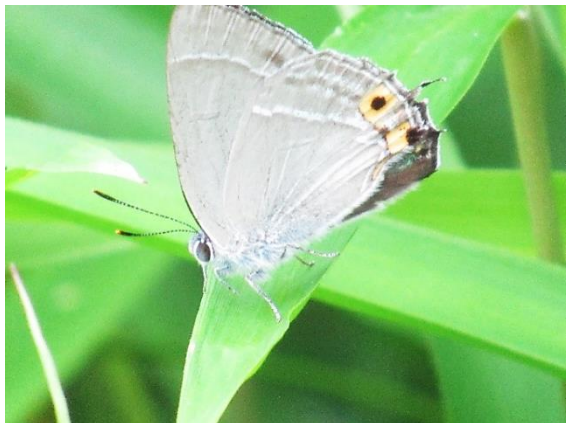
AB 型… オレンジ色と青色の斑紋

O 型……斑紋が現れない



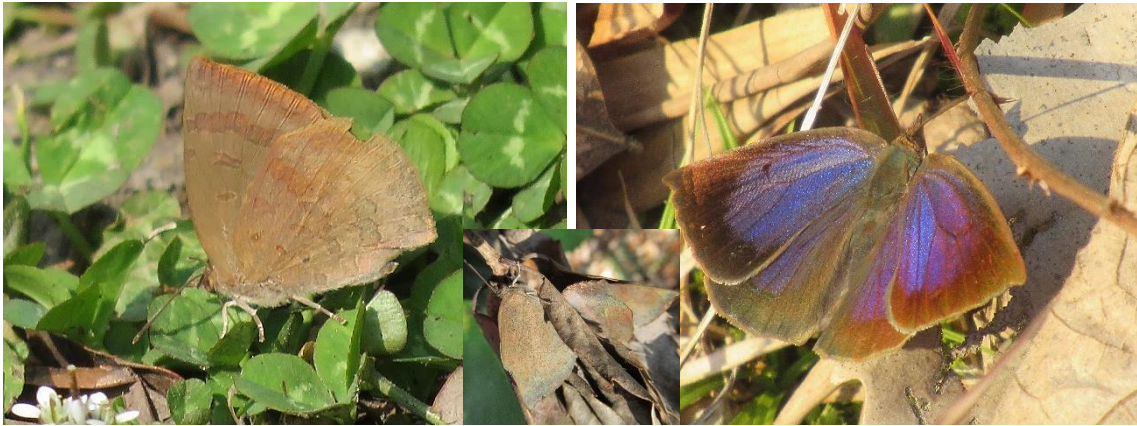
オオミドリシジミ(メス)

(オス)





ウラギンシジミ(オス) (越冬) (メス)
 前翅の先が尖ったやや大き目のシジミチョウ。常緑樹の葉裏で成虫越冬する。



ムラサキシジミ(オス 裏) (越冬) (オス 表)
 翅表の紫青色と翅裏の地味さが対照的なチョウ。枯れ葉の中で成虫越冬する。



ウラナミシジミ
 翅裏に波状の斑紋がある。
 温かい地域では越冬ができる。



ゴイシシジミ
 碁石状の黒点があり、小さい。
 シジミチョウの仲間では唯一肉食。

<アゲハチョウ科>



モンキアゲハ 平野部
最も大きなアゲハ。大きな白い斑紋が目立つ。



ナガサキアゲハ 山間部
尾状突起がない。



クロアゲハ 山間部
翅表に斑紋はないが、裏には赤斑列。



カラスアゲハ 山間部・平野部
翅表は、青～緑の金属光沢。



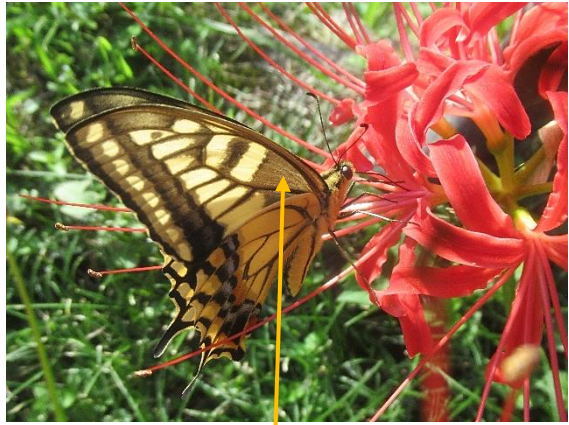
ジャコウアゲハ(オス) (産卵)
平野部。食草はウマノスズクサ科。腹部が赤い。



(メス)
翅が黄灰色。斑列はオレンジ色。
※黒いアゲハチョウの多くは、ふるさと公園に飛来していると考えられる。



アゲハ 平野部 食草はミカン科
前翅前方に黒い線が入る。

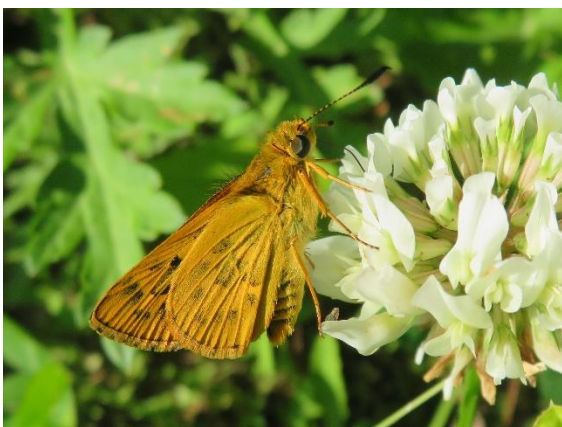


キアゲハ 平野部 食草はセリ科
前翅前方は黒色鱗



アオスジアゲハ
平野部。水色の帯が輝く。

<セセリチョウ科>



キマダラセセリ(裏)
橙黄色に薄茶色のまんだら模様。



(表)
茶色地に帯状の黄斑。



チャバネセセリ

小さい白斑が弧状になる。



イチモンジセセリ

白い4つの白斑がほぼ1列に並ぶ。



コチャバネセセリ

黄褐色に黒い翅脈。黄白斑が並ぶ。



オオチャバネセセリ

4~5個の白斑がジグザグに並ぶ。



ホソバセセリ

黄土色を基調に、黒縁のある白斑。



ダイミョウセセリ

通常、翅を開いて止まる。

※セセリチョウの多くは、イネ科を食草とするが、ダイミョウセセリはヤマノイモ科。